

中等部

共学化後初の登山 ～硫黄岳を目指して～（遠足）

橋 隼人

2024 年度の中中部登山行事は、共学化後初の実施となり、登山場所やコース設定を再検討した上で新たな形式で行われた。赤岳鉱泉を拠点とし、硫黄岳登頂、山小屋泊、自然散策の 3 コースを展開。生徒たちは事前準備から主体的に関わり、自然と向き合いながら仲間と協力し、かけがえのない経験を得た。

2024 年度の中中部登山行事は、6 月 17 日～19 日に前半、19 日～21 日に後半を実施し、計 200 名以上の生徒と教員が参加した。今回は、共学化後初めての登山ということもあり、従来の形式を一度見直す必要があった。特に登山の場所や日程、グループの構成、安全面など、多くの点で検討を重ねることとなった。

山の選定にあたっては、いきなり新しい場所に挑戦するのは難しい一方で、これまでと同じ工程では、男女がともに安全に活動することが難しいという課題もあり、その結果、これまでの経験も踏まえながら、赤岳鉱泉に宿泊し、硫黄岳を目指す計画を再構成することにした。

今回は、生徒の体力や希望に応じて3つのコースを同時展開した。①硫黄岳登頂を目指すコース、②山小屋(赤岳鉱泉)をゴールとする登山コース、③麓に宿泊して自然散策を行うコースである。それぞれが無理のない行程で、安全かつ充実した活動を行えるよう配慮した。

この登山行事の目的は、自然の豊かさや厳しさを体感するだけでなく、仲間と協力しながら一つの目標に向かって努力し、達成感を味わうことにある。教室では得られない学びを通して、生徒たちが「集団の中での自分の役割」「責任ある行動」について深く考える機会となることを目指した。そして何より、長い人生において、山という存在を好きになってくれるような、そんな“種まき”ができたという思いを持って、本行事にあたった。

準備の段階から、生徒たちは非常に主体的に関わり、放課後に何度も集まりをとり、登山ルートや装備、班分け、安全対策などについて、教員と共に話し合いを重ねた。とくに安全対策は入念に検討され、3 年生の係生徒を中心に全体の体力づくりにも熱心に取り組んでくれた。行事を「自分たちのもの」として主体的に受け止めている様子が随処に見られ準備の段階から様々な成長が見られた。



1-1 中3 生徒しおり作り

実施当日は天候の影響もあり、前半コースでは登頂を断念することになった。しかし、生徒たちはその状況を前向きに受け止め、宿での過ごし方を工夫しながら、班ごとにレクリエーションを企画したり、仲間と談笑したりと、自ら時間を充実させる姿が見られた。また、宿のオーナーの柳沢さんによる赤岳鉱泉の歴史や自然に関する講話もあり、生徒にとっては普段聞けない貴重な学びの機会となった。

さらに、前半2日目の夕方には雨が上がり、美しい虹が山にかかる幻想的な光景を見ることができ、登れなかった悔しさはあったものの、自然のもたらす一瞬の奇跡に心を動かされる瞬間となった。翌朝には登山道の一部を散策し、雨上がりの苔や草木が輝く様子を観察することができ、「同じ山でもいろいろな表情があること」に気づく貴重な経験となった。

後半コースは天候にも恵まれ、予定通り硫黄岳登頂を果たすことができた。初の男女合同での登山となったが、それぞれのコースで自然との向き合い方や仲間との関わりを大切にし、無事に全日程を終えることができた。初めての形式ながら、生徒たちは柔軟に対応し、学びに満ちた三日

間となったのではない。

生徒たちの感想にも、その学びの深さが表れている。
「登らない決断も挑戦だった。仲間の安全を考えた判断に悔いはない。」(登山リーダー)
「不安もあったけれど、仲間と協力してやり切れたことが自信になった。」(登山リーダー)
「男女での活動に不安もあったが、協力しようとする気持ちがあれば乗り越えられることを実感した。」(係生徒)
「登らないという経験は、決して“逃げ”ではないことを知った。」(登山リーダー)

今年度の登山行事では、「慎始敬終(しんしけいしゅう)」～最初から最後まで気を抜かずにやり遂げる～という目標のもと、リーダーや係を中心に全体が一体となって行動する姿が見られた。また、登山本番だけでなく、日常生活の中に小さな課題を見つけ、声をかけ合い改善していくこともでき、中等部としてのまとまりが自然と生まれていったように感じる。

自然に触れ、仲間と共に課題を乗り越える体験が今後の人生にも活きる「心の土台」になり、生徒たち一人ひとりにとって、自然や仲間を大切にする心を育む機会となったことを願っている。



1-2 登り始めの休憩の様子



1-3 登り始めの様子



1-4 高山食物



1-5 食事の様子



1-6 宿での様子



1-9 小屋の前での集合写真②



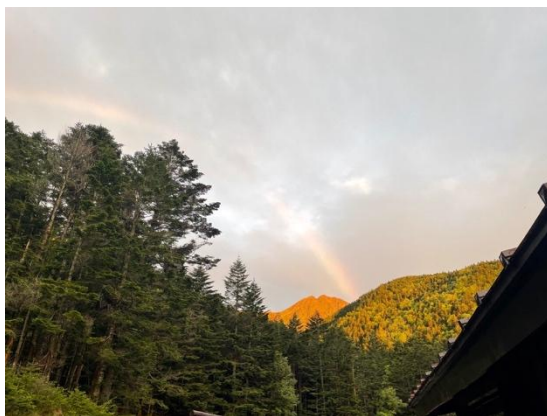
1-7 柳沢さん講話



1-10 小屋の前での集合写真③



1-8 古屋の前での集合写真①



1-11 雨上がりの虹



1-12 雨上がりの虹②



1-15 山頂の様子



1-13 山頂目の様子



1-16 山頂付近からの下山の様子



1-14 山頂での集合写真



1-17 雨の中の下山